

一問一答

Q.あなたの20年前は？



西田 忠

凛風会

日々認知症の進む祖母の介護が大変な時期、明けない夜はないと自分に言いきかせる毎日でした。



田中 新人

凛風会

水口町議会議員から合併で甲賀市議会議員になり、議員は82人になり、深夜まで議論を重ねました。



林田 久充

凛風会

草津市職員で、龍谷大学客員研究員でした。合併時、甲賀市で全職員研修をさせていただきました。



戎脇 浩

自由民主党誠翔会

4人の子育てと全盲の父、早くから認知症を患った母の在宅介護と家業、とにかく格闘の日々。



堀 郁子

公明党

3回の流産を乗り越え、高齢出産で2人目を産むことができ、喜びいっぱいの子育てをしていました。



橋本 律子

凛風会

合併時、総82名の議員の一員でした。女性の声を政策にと必死でした。



小倉 剛

自由民主党誠翔会

鮎河東野第2区 区長で、地元営農組合の組合長になった年がありました。



田中 将之

公明党

43歳。信楽焼を販売するため全国をめぐる生活。特に東京での経験が今に生かされていると感謝。



奥村 則夫

自由民主党誠翔会

29才で、結婚4年目で2人の子どもにも恵まれ、お茶とお米の個人農家をしていました。



田中 喜克

自由民主党誠翔会

水口町職員での「甲賀市合併前夜」、明日本当に合併できるのかな？と思い巡る長い夜でした。



西山 実

日本共産党

生協の食の安全推進室の室長として、滋賀県の審議会への参加、学習会や危機管理対応に取り組む。



岡田 重美

日本共産党

介護施設で働いていました。認知症の方の介護が主で、悩みながらも学びの多い日々でした。



中島 裕介

自由民主党誠翔会

東京で排ガス規制のDPFを取り扱う企業で、環境と向き合う仕事をしていました。



瀬古 幸司

凛風会

サラリーマン真っ只中。仕事のことばかりで、経済には注視していたが、政治・行政には疎かった。



谷永 兼二

凛風会

消防団やPTA、各青年団体などの活動も終え、地元神山区のまちづくりに軸足を置いていました。



橋本 恒典

凛風会

甲賀市合併に伴う業務や、合併後の新市の様々な取組を行っていたことを思い出します。



北田 麗子

自由民主党誠翔会

18歳の高校3年生でした。合併といっても住所が変わったくらいで特に大きな変化はなかったです。



山岡 光広

日本共産党

その時、52歳で森尻自治会の区長。関心があったので80人の甲賀市議会を傍聴に。



木村 真雄

公明党

教育委員会に在籍し、総合型地域スポーツクラブの設立や生涯スポーツの振興に携わっていました。



福井 進

無所属

2004年度から2年間、学校現場を離れて滋賀県教職員組合と連合滋賀で仕事をしていました。



西村 慧

凛風会

9歳(小学校4年生)、放課後は家に帰ってすぐにハートヘルスパーク甲南で日暮れまで野球。

9月定例会の予定

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
8/18	19	20	21	22	23 本会議 (第1日)	24
25	26	27	28	29	30	31
1	2 本会議 (第2日)	3 本会議 (第3日) 一般質問	4 本会議 (第4日) 一般質問	5 本会議 (第5日) 一般質問	6 本会議 (第6日) 一般質問	7
8	9 委員会	10 委員会	11 委員会	12 委員会	13 委員会	14
15	16 委員会	17 委員会	18 委員会	19 委員会	20	21
22	23 本会議 (第7日)	24	25	26	27	28

*午前9時30分から開会します。

編集後記

▶ 6月議会定例会も終了し、開かれた議会、身近な議会の広報ツール「議会だより」を皆様にお届けします。新しい時代をどのような時代としていくのか。その夢の実現は私たちの行動にかかっています。甲賀市は、令和6年10月1日に合併20周年を迎えます。また、来年は国民スポーツ大会・障がい者スポーツ大会を控え、未来への躍動感にあふれた今こそ、実行の時です。先送りでは次の世代への責任を果たすことができません。これからも活発な議会活動をお伝えするため、紙面づくりを広報部会で工夫してまいります。(広報部会員 田中新人)

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

編集■広報広聴委員会 発行■甲賀市議会

〒528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口6053番地
TEL.0748(69)2258 FAX.0748(63)4373
ホームページ <https://www.city.koka.lg.jp/council/>
E-mail:koka05101000@city.koka.lg.jp



2024.08.01
vol. 79